

## 東京下町 樹木探索

### ビヨウヤナギとキンシバイ



豎川河川敷公園の「キンシバイ」(金糸梅)

今年のゴールデンウィークは、5月2日の仏滅と5月6日の友引を休めば10連休という超大型、こんなに休んで日本の経済活動は大丈夫なのだろうかと心配になってしまいます。しかしながら実際に、これだけの大型連休を満喫できる人たちは超一流企業に勤める6.3%の人達だけで、休みが1日しかない人は19.8%もいるというのが株式会社クリエイティブジャパンによる調べです。

その後、5月26日、27日の両日には三重県志摩市で先進7か国首脳会議(G7伊勢志摩サミット)が開催され、安部首相は「世界経済はリーマン・ショック前に似ている」とプレゼンしました。国内外の景気判断については様々な意見があるものの、安部首相が、5月29日に方針を明らかにした消費税引き上げ延期のためにG7サミットを利用したのだとすれば、これはかなりの戦術の使い手であると感服します。

5月も終わりに近づくと、[キンシバイ\(金糸梅\)](#)や[ビヨウヤナギ\(美容柳\)](#)の黄色い花が目立ちます。両方ともオトギリソウ科オトギリソウ属の植物で、最初は同じ花だと思ってました。

しかしながらよくよく見てみれば、蛭原友里(愛称:エビちゃん)が所属していた雑誌CanCanの専属モデルのように、まつ毛にエクステンションを施したようなおしべの長い方がビヨウヤナギです。葉の付き方も意識しないと分かりませんが、平面的な通常の対生(葉が一つの節に2枚ずつ出る)がキンシバイ、これに対しビヨウヤナギは立体的な十字対生です。

高速7号線高架下に作られた豎川河川敷公園には、キンシバイとビヨウヤナギが自転車通路沿いに交互に並んでいて、朝日を浴びて眩(まぶ)しいくらいの輝きです。しかしながら、説明板が添えられているのビヨウヤナギのみ、これは明らかに美人に対する依怙(えこひ)なんでしょうと思います。

ところで、これらの花達は両方とも中国が原産で、バイオハザードVに出演していた中国女優[「李冰冰」\(リー・ビンビン\)](#)を彷彿(ほうふつ)させる禁断の美しさでありました。



[ビヨウヤナギとキンシバイ](#)



[李冰冰\(リー・ビンビン\)](#)

## 東京下町 樹木探索

### ナツツバキとヒメシャラ



ナツツバキ(夏椿)/東京都墨田区桜橋東詰付近

この時期に、清楚ですっきりとした白い花を咲かせるのはナツツバキです。このような可憐な花の原産地はもちろん日本、暑さや水涸(みずが)れに弱く、そして剪定にも強くない、まさにわび・さびを感じさせる日本の花です。この花が咲いていたのは墨田川桜橋の東岸、高速6号向島線の下でした。この花は、朝に咲いて夕方には萎(しぼ)んでしまう1日花であって正に一期一会(いちごいちえ)、今日出会えたのも何かの縁でゆっくり鑑賞したいと思います。

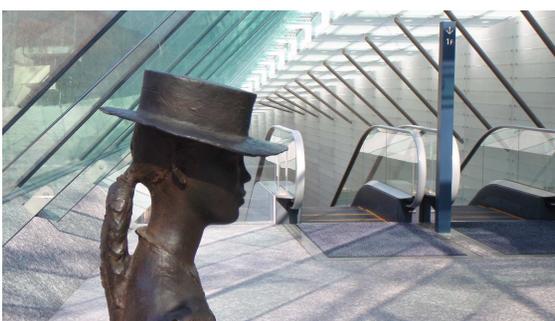
ナツツバキは別名でシャラノキ(娑羅樹)とも呼ばれ、仏教の聖樹であって日本では生育しない熱帯の木「沙羅双樹」(さらそうじゅ)に間違われてしまった事もありました。一方、広島・岡山あたりには「サルスベリ」と呼ぶ地域もあるようですが、サルスベリと間違えて太い枝を剪定したら、たちまち枯れてしまうので要注意です。

ナツツバキの妹分にあたる樹木がヒメシャラ(姫沙羅)です。葉っぱの葉脈のシワが深くて苦労している感じがお姉さん、花も葉も小ぶりで弱々しいのが妹です。

ヒメシャラは箱根の原野にたくさん自生しています。その中でもポーラ美術館のヒメシャラは圧巻で大木揃い、木肌の美しさも健康そのものです。美術館の遊歩道の散策は無料で、貴重な原生林の森林浴が楽しめます。散歩の後は、美術館のレストラン「アレイ」のテラス席で、爽やかなそよ風に身を委(ゆた)ねながら特性スイーツでも頂けば、5月の自然と一体になった感覚に捉(とら)われます。



箱根ポーラ美術館(森の遊歩道)



(エントランス)



(レストラン「アレイ」)



(箱根スイーツコレクション2016)